覚円寺新聞

発行所　浄土真宗本願寺派（通称　お西）　青木山　覚円寺
〒９３４－００５３　富山県射水市朴木１６４　住職　青木　哲静
TEL　０７６６－８２－４２６７　メールアドレス
FAX　０７６６－７３－８１８１　p7m7fb@bma.biglobe.ne.jp

初参式

～拝啓、二十歳の君へ～

五月の末、覚円寺にて初参式が勤まりました。

三カ月の赤ちゃんから、二歳のお子さんまで五名のお子さんが、阿弥陀さまにご挨拶してくれました。

短いお勤めをした後、若院がお話をして、焼香の時にはそれぞれ小さな可愛い手のひらを合わせてナムナムしてくれました。

覚円寺の阿弥陀さまがいつも以上に優しい眼差しで、子どもたちを見守ってくれているように感じたのは私だけでしょうか。

最後に、親御さんには二十歳になった、お子さんに向けた手紙を書いてもらいました。

土のお父さんもお母さんも一生懸命に筆を走らせていました。私も息子に向けた手紙を書いたのですが、二十年後を想像して今の気持ちを綴ると熱いものが込み上げてきました。

この手紙は阿弥陀さまの下でお預かりし、お子さまが二十歳になられたころ、何らかのカタチでお渡ししたいと思います。

親として二十歳の我が子へ想いを伝える恥ずかしさはありますが、「あなたが大切な存在なんだよ」という気持ちは必ず伝わると思っています。

この子たちが、成人したころに世の中はどのような状況になっているのでしょうか。

集団的自衛権や憲法について現在も様々な意見があります。

この子たちの生きる時代は、絶対に武器を持って尊い命を殺めることのない世の中であってほしいと思います。

また、絶対に武器によってこの尊い命が殺められることのない世の中であってほしいと心から願っています。

本堂で仏前式！

六月二十八日、覚円寺本堂にて仏前結婚式が執り行われました。

新婦は、ご門徒さんです。春先に、私を訪ねてくださり「覚円寺の本堂で式をしたい」と言ってくださいました。何度も紙面でお伝えしておりますように、仏教は今生きている私たちのためのものです。

葬式仏教と揶揄（やゆ）される今日（こんにち）において、本堂をお二人の晴れの門出に選んでいただき、寺をご門徒から預かる立場として万感の思いです。すべての進行を任せていただき、友人僧侶にも協力してもらって司会や雅楽の生の演奏で仏前式を盛り上げてもらいました。

仏前式は本当におススメです。少しでも気になる方は気軽に相談だけでもいらしてください。

武島　慎吾さん　麻衣さん

六月二十八日、み仏のご縁もあり覚円寺で結婚式を挙げることができました。当日は、雨との予報でしたが式の合間に何度か青空が見うけられました。これも、仏さまやご先祖のおかげなのかもしれません。

さて、私が仏前式を選んだ理由の一つに、仏さまとご先祖に報告する儀式だったということが挙げられます。先に旅立った家族、親族に「結婚しました。」と報告出来ましたし、この世に生まれてきたことへの感謝も伝えることが出来ました。

このような報恩感謝の気持ちが生まれるのは仏教だからなのかと改めて感じました。

本番も雅楽とお経が本堂に響く中、粛々と執り行われました。緊張のせいか、式の流れを忘れることがありましたが、若さんや司会者の目配りのおかげで無事乗りきることが出来ました。それでも安心して式に臨めたのは、覚円寺をはじめご協力頂いた方々のおかげです。

本当にありがとうございました。

墓地草むしり～感謝～

今年も七月のお盆前に、朴木の方々に朝の六時にお集まりいただいて、お墓の草むしりをしていただきました。本当にありがとうございます。

個人的に清掃に来られる方もおられますが、墓地はこのように保たれています。

みなさんに知っていただきたく報告いたしました。

金箔の箸つくりと お仏壇について

毎月十六日に仏教婦人会の例会が開催され、各方面よりご講師に来ていただいて、仏さまのお話を聞かせていただいております。

六月の例会は高岡市福岡にあります「大越仏壇」のスタッフ六名の方々に来ていただき、金箔の箸つくり体験とプロジェクターを使って、お仏壇のお話を聞かせてもらいました。

箸つくりでは、薄い金箔を箸に巻きつける作業に真剣な表情が見られました。

またお仏壇の説明では、各土地によるお仏壇の違いや、お仏壇の荘厳(おかざり)のそれぞれが持つ意味について楽しくわかりやすく説明してくださいました。

最後に紙芝居も披露され、楽しんでいただけたようです。

仏教婦人会は今年三〇周年を迎えます。会員も随時募集しておりますのでお気軽に尋ねてください。

これからも、楽しく仏教を皆さまに伝えられるよう努めていきたいと思います。

本堂の畳、総入れ替え

六月末、八嶋建築様に一部寄付を頂きまして本堂の畳の総入れ替えをさせていただきました。

また、寄与していただいた祠堂懇志(しどうこんし)で敷居もケヤキにかえ、本堂の上がり口も板張りになりました。

写真はきれいになった本堂で若坊守(わかぼうもり)と孫四人です。

サトコの部屋

息子が産まれて半年が過ぎ、表情も豊かになってきました。寝返りも出来るようになり、腹ばいになったまま後ろへ下がっていくなど行動範囲が広がり日々成長を感じる毎日です。

今は、離乳食が始まりスプーンを口元へ持って行くと、口をあけ美味しそうに食べてくれています。

お盆には、たくさんの方々に優しく声をかけて頂き、嬉しそうに笑う息子の顔を見て、私も嬉しくなりました。

報恩講のときには、少し大きくなった息子が皆さんを待っています。是非、お参り下さい。

お知らせ

『報恩講法要』

十月二十八日(水)
①午後二時～
②午後七時～

二十九日(木)
③午前九時半～
④午後二時～

法話
上市組　円光寺若院
村井敬成　師

どなたもお誘いあわせの上、お参り下さい。

昼過ぎからは
パフォーマンスショー
出演者　ハルキさん

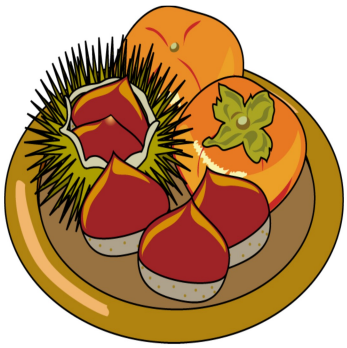
曇華(どんげ)仏教婦人会

十月二十八日(水)
午後七時～
講師　村井敬成師

十一月十六日(月)
午後七時半～
講師未定

十二月十六日(水)
午後七時半～
講師未定

例え話を用いた、わかりやすい法話会です。初めての方もお気軽にどうぞ。



フットサル大会優勝！

全国の若手僧侶の研修会とフットサル大会が毎年行われております。今年は北海道大会でした。

私が所属する高岡チームが優勝しました。決勝戦には勝利を決定づけるパスをアシストし、美味しいお酒がのめました(笑)

来年は高岡で開催されるので二連覇を目指してダイエットせねば。

福島に支援米を

今年も、原発事故で田畑を手放し避難生活を送っておられる、交流のある方々に支援米を送らせていただきます。

昨年も県西部の寺院・門徒で約6ﾄﾝ送りました。詳細はおたずねください。

写真は今年の夏の、飯舘村からのホームステイのものです。海でおもいきり遊びました。

住職コラム

孫たちも日一日と大きくなって表情も変わってきました。それはそのまま自我の確立ということだと思います。なかなか親の思う通りにいかなくなってきます。皆さんは『賑やかでいいね。』と言ってくださいます。賑やかを通り越して大変です。

編集後記

息子が天然のモヒカンで不安です(笑)